

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築生産 1											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	赤石 辰夫			実務 経験	有	職種	施工管理 / 1 級建築施工管理技士				
担当教員紹介											
<p>建設会社で現場監督として勤務し、2階建ての信用金庫支店から14階建ての高層住宅まで様々な施工管理を担当。また超高層RC造の技術開発にも参加し、日本建築センターの技術評定でも施工を担当した経験を持つ。</p>											
授業概要											
<p>教科書を中心に解説を進めるが、建築工事がより身近に感じられるように教員の経験も交えて説明を行う。項目ごとに区切りとなる小テストを行い、個人ごとの理解度の確認をする。</p>											
到達目標											
<p>施工者（元請負）が、発注者（施主）や工事監理者と関わりながら1つの建築工事をまとめていくための知識と、その工事を管理していく様々な手法について学ぶ。また、木造建築と鉄筋コンクリート建築に分けて、それぞれの工事を行うために必要な仮設計画や、工事を行う専門職の技術をまとめていく管理手法と重点項目などについて、国家試験に出てくるキーワードを中心に学ぶ。</p>											
授業方法											
<p>目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。</p>											
成績評価方法											
試験・課題	50%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する									
小テスト	30%	2級建築施工管理技術検定試験と同等の試験を実施する									
平常点	20%	普段行われる演習問題の理解度や取り組みについて判断する									
履修上の注意											
<p>身の回りには建築工事現場がたくさんあるので、興味を持って工事を観察し、疑問点があれば授業で質問するように心がけること。また、建築一般構造や建築材料の授業と密接に関連しているので、それらのテキストも参照すること。</p>											
教科書教材											
初学者の建築講座建築施工、ビジュアルハンドブック必携建築資料											
回数	授業計画										
第1回	建築施工の概要 1 建築士と施工管理技士について / 契約と監理と管理										
第2回	建築施工の概要 2 品質管理と工程管理										
第3回	建築施工の概要 3 安全管理と環境管理										
第4回	建築測量と工事届 ベンチマーク・縄張り・遣り方・墨出しと各種届け出書類の提出先										
第5回	仮設工事 総合仮設計画・仮囲い・足場										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築生産 1	
第6回	木造工事 1 木材の種類ごとの性質と木目による性質
第7回	木造工事 2 基礎の鉄筋コンクリート工事とアンカーボルトの設置工事
第8回	木造工事 3 木材の加工と建て方工事
第9回	木造工事 4 木造の屋根工事
第10回	鉄筋コンクリート工事 1 大規模な根切り工事と山留工事
第11回	鉄筋コンクリート工事 2 直接基礎工事と杭基礎工事
第12回	鉄筋コンクリート工事 3 鉄筋の加工と組み立て工事
第13回	鉄筋コンクリート工事 4 鉄筋の接合と型枠工事
第14回	鉄筋コンクリート工事 5 コンクリートの材料の種類と受入検査
第15回	鉄筋コンクリート工事 6 コンクリートの打設と養生